



2017年12月28日

～ 骨再生用材料開発技術を活用した新たな再生医療製品の研究開発を支援 ～
QB第一号ファンド 「ORTHOREBIRTH株式会社」への出資について

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、地域の事業会社等と共同で出資している「QB 第一号ファンド」（以下「本ファンド」）において、10 件目の投資案件となる「ORTHOREBIRTH株式会社（代表取締役社長 西川 靖俊）」（以下「当社」）へ出資を行いましたので、お知らせします。

当社は、綿形状の骨再生用材料の研究開発・製造・販売を目的に設立されたベンチャー企業で、名古屋工業大学で開発された技術をベースに、琉球大学、沖縄工業高等専門学校と共同研究を行っています。今後、再生医療分野における多種多様な製品の提供と再生医療の発展への寄与が期待されます。

当行は、地域金融機関として、本ファンドを通じて大学発ベンチャーの成長及び地域経済の活性化を積極的に支援してまいります。

記

1. 対象企業の概要

会社名	ORTHOREBIRTH 株式会社
本社住所	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎東3丁目17番43号
代表者	西川 靖俊
設立	2011年6月
事業内容	綿形状の骨再生用材料 [*] の研究開発及び製造販売
資金使途	米国での当社製品の販売活動に係る運転資金及び研究開発費等の調達

^{*}: 名古屋工業大学の春日 敏宏 教授による基礎研究を経て商品化。商品「手術用人工骨（骨充填材）」、名称「ReBOSSIS」。

2. 出資の理由

本件は、骨再生用材料の開発技術を活用した再生医療製品の研究開発に取り組む当社の下記の点を評価し、出資を行いました。

(1) 高い技術力

世界で唯一の綿形状の骨再生用材料の製造を可能とする高い技術を活かして、再生医療分野において多様な製品の開発が可能であること。

(2) 商品の新規性及び国際性

当社が開発した「ReBOSSIS」は、米国FDA（アメリカ食品医薬品局）の認可を取得した世界で唯一の綿形状の人工骨であり、今後、米国に加え、日本、欧州、台湾などにおける国際的な事業展開が期待されること。

(3) 地域経済の活性化

大学の研究成果を活用した新たな事業の創出及びベンチャー企業の創業支援を行うことにより、地域経済の活性化が期待されること。

以上

参 考

『QB第一号ファンドについて』

本ファンドは、当行が九州大学の特定関連会社である株式会社産学連携機構九州と共同で設立したQBキャピタル合同会社が運営するもので、九州地域の大学の研究成果を活用した新産業の創出による九州経済活性化を目的に設立されました。

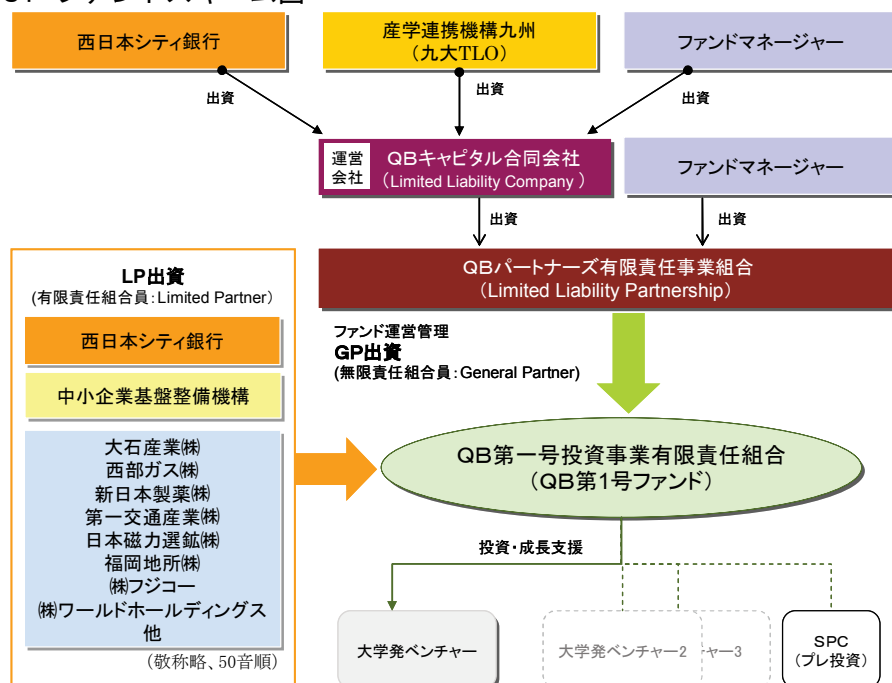
1. ファンドの概要

名 称	QB 第一号投資事業有限責任組合（通称：QB 第一号ファンド）
設 立 日	平成 27 年 9 月
フ ァ ン ド 総 額	約 31 億円
無 限 責 任 組 合 員 (GP : General Partner)	QB パートナーズ有限責任事業組合
有 限 責 任 組 合 員 (LP : Limited Partner)	株式会社西日本シティ銀行、独立行政法人中小企業基盤整備機構 地域事業会社 他
存 続 期 間	10 年間

2. 運営会社の概要

名 称	QB キャピタル合同会社
設 立 日	平成 27 年 4 月
所 在 地	福岡市早良区百道浜 2-1-22 SRP センタービル
出 資 者	株式会社西日本シティ銀行、株式会社産学連携機構九州 他
代 表 社 員	坂本 剛、本藤 孝

3. ファンドスキーム図



本件に関するお問い合わせ先
 法人ソリューション部 渡辺・多良木 TEL092-476-2741